

～伝統のトロール漁業を守り抜く！～

宮本 英之介さん（八幡浜市）

有限会社 昭和水産 代表取締役 1973年生まれ

HP <http://www.uwakai.com/>



☆経営概況☆

農林水産大臣許可沖合底曳網（トロール）漁業、鮮魚及び水産物加工品の製造・販売
所有船舶：第15・16海幸丸（各125トン）、第21・22仁洋丸（各75トン）、
第1・2海幸丸（各75トン）

主な漁獲物：イカ類、エソ類、イボダイなど

☆ここがポイント☆

■トロール漁業の灯を次世代へ継承したい

宮本家は代々トロール漁業を家業としており、祖父が昭和23年に会社を設立して以来、長男である私で三代目です。大学卒業後は東京でサラリーマン生活を約4年間経験し、平成11年に家業に入ってから、獲るだけの漁業では未来がないとの思いから、高値が期待できる首都圏への販路開拓など流通販売部門を強化しました。

漁業の基盤は八幡浜と山口県下関を拠点に操業する3統6隻のトロール船で、沖底漁は豊富な魚種が安定して水揚げされる魅力的な漁法です。この伝統のトロール漁業を将来にわたって継続していけるよう、一丸となって仕事に邁進していきます。

■獲れたての魚をみなさんへ

平成5年から網元直売店「トロール市」を開店しました。主に海幸丸で獲れる旬の鮮魚を豊富に取り揃えています。対面方式で、それぞれの鮮魚の美味しい食べ方や調理法、特徴などをスタッフが紹介しています。お買い上げいただいた鮮魚は、お好みの調理法に合わせて専門スタッフが丁寧に調理します。

また、平成5年には「網元の台所」をコンセプトに飲食施設「海幸丸」をオープンしました。定食を中心にした定番メニューはもちろん、店内で購入いただいた鮮魚をそのまま料理してお召し上がりいただけます。

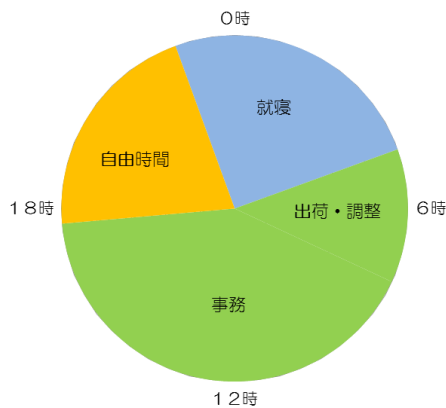


第15・16海幸丸



水揚げされたヤリイカ

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

■体力作りは漁業の基本☆

通常は昼間の来客対応等の業務が主体となりますが、トロール漁業のシーズン（9月～翌5月）には、船の入出港に合わせた夜間及び早朝勤務が加わります。沖で頑張っている船員たちが帰港するときは、時間に関係なく最優先で入出港に立ち会うことを心掛けています。社長業務とはいえ体力が求められる職場のため、**夕食前には軽い運動（ジョギングなど）を日課**にしています。

余暇は体を動かすスポーツを中心に読書や音楽鑑賞。出張予定に合わせて映画やコンサートに出かけるのも好きです。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	9～翌5月					
← 深夜・早朝を含めての出入港関連業務、来客対応 →						
【普通期】						
← 船員雇用や船舶修繕に関する業務等、来客対応 →					休日	← →



乗船するインドネシア実習生



網元直売店トロール市

☆これからの夢や目指すもの☆

■トロール漁業の灯を次世代に継承したい！

将来にわたって伝統漁業を続けていくために、強い経営基盤を作ることが目標。そのためには若手幹部船員の採用・育成と船舶の維持更新が当面の課題です。しっかりした漁業基盤を軸に**流通・加工・販売までを一貫して行える企業を目指しています。**

☆メッセージ☆

■来たれ、未来の漁労長！

1年の中で3分の1がシーズンオフのトロール漁。漁期中は沖での生活が中心ですが、頑張った分だけ高い報酬が得られるのも漁師の魅力です。**冬にガッツリ稼いで夏は遊ぶ！**そんなメリハリのある生活を送りたい若者の応募を待っています！